

金沢大学 施設系技術職員 (建築・電気・機械)の業務内容

—キャンパスの整備計画の企画・立案から施設整備、
維持管理までのキャンパスマネジメント業務—

詳細な業務内容の説明を希望される方は、下記まで連絡をお願いします。

国立大学法人金沢大学 施設部施設企画課総務係

TEL:076-264-5104

Mail:fasomu@adm.kanazawa-u.ac.jp

配属先

採用後は事務局施設部に所属し、角間(施設企画課・施設管理課)又は宝町(宝町施設支援室)に配属となります。
また、石川県内の他機関(北陸先端大・石川高専)や東海北陸地区の国立大学法人等との人事交流も可能です。

角間キャンパス 事務局施設部



敷地面積: 2,008,565m²(201ha)

建物面積: 245,005m²

建物数: 117棟

(人間社会環境研究科・法学研究科・自然科学研究科・人間社会学域・理工学域・融合学域等)

宝町キャンパス 経営管理課内宝町施設支援室



敷地面積: 151,053m²(15ha)

建物面積: 188,547m²

建物数: 57棟

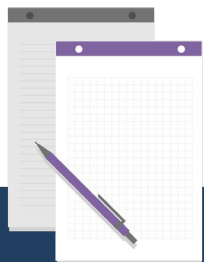
(医学系研究科・医薬保健学域・附属病院等)

施設系技術職員の業務

- ・よりよいキャンパス整備を目標に、企画段階から整備、完成後の維持管理まで、総合的にマネジメントを行う
- ・多岐にわたる業務があり、様々な業務を体験することが可能
- ・ひとつの「まち」に例えられる大学キャンパス内には、校舎、病院、図書館、食堂、宿舎、保育園、体育館など様々な施設があり、その計画・整備に関われることが、国立大学法人の施設系技術職員の特徴

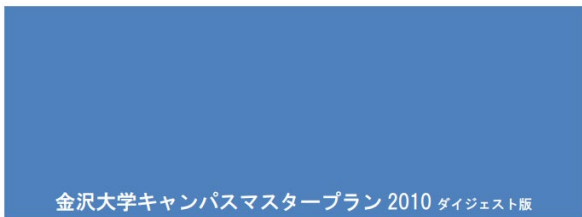
具体的な業務例

- ①施設整備の企画・提案・予算要求、キャンパスの将来計画(キャンパスマスタープラン)の策定
- ②施設の整備計画、設計、積算、発注、工事監理、検査等
- ③施設の維持管理(保守点検、運転監視、修繕等)
- ④キャンパス環境整備・保全(緑化、交通、サイン、バリアフリー等)
- ⑤施設マネジメント(エネルギー管理、スペース管理、施設の長寿命化、カーボンニュートラル等)

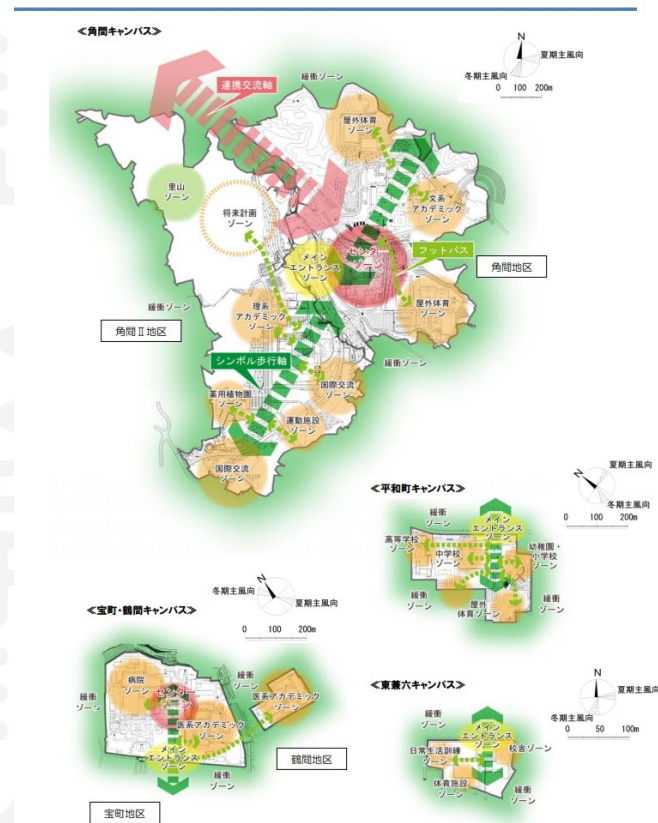
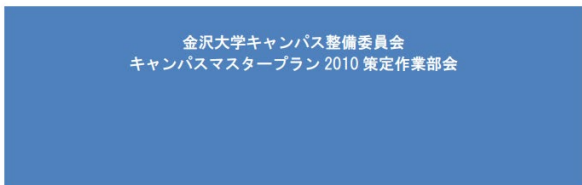


①キャンパスの将来計画の策定

金沢大学キャンパスマスタープラン(抜粋)



平成 23 年 3 月



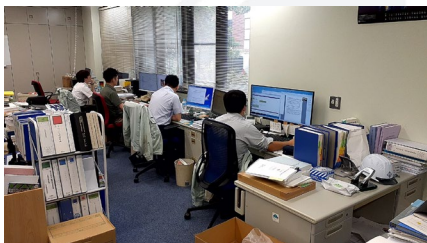
キャンパスマスタープランは、中長期的な視点に立ち、今後10年間程度の範囲内で既存施設の有効活用と新たな施設・環境整備の方針を示すものとして、アカデミックプランや運営戦略に基づき策定します。

②施設の整備計画、設計、積算、発注、工事監理、検査等

計画、設計、積算

計画・設計・積算業務は、利用者の要望を取り入れながら、予算を最大限活かし、コストバランスや維持管理のしやすさを考えて設計を進めます。

学生寮から最先端の研究施設まで、幅広い施設に携わるチャンスがあります。



CADや表計算ソフトを活用して、設計、積算を行います。
規模が大きい場合は、設計事務所などに設計外注し、設計事務所が書いた図面等をチェックします。

発注 (工事契約)

工事監理

工事監理業務は、設計で計画したことを実現する段階です。建設工事の段階で判明する問題点を改善し、建設期限までに利用者が満足できる建物を作っていきます。

建物が完成した時や、自分のアイデアが形となったときは、感無量です。



コンクリート打設の立会の様子
構造に関わる重要な立会

構造物の大きさや、鉄筋の太さ、本数、コンクリートの仕様等、設計図どおりに作っているか、工事の進捗に遅れはないか等様々な点で工事監理を行います。

③施設の維持管理(保守点検、運転監視、修繕等)

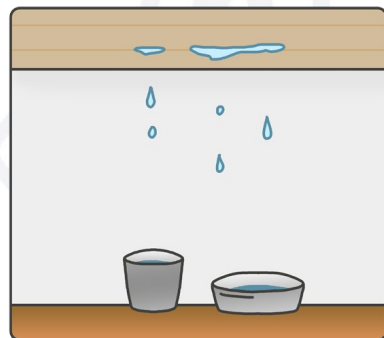
建物に不具合や事故が発生した場合は、教育研究に支障が発生しないよう、速やかに修繕や改修を実施します。

建物の不具合・事故を未然に防ぐため、計画的に維持管理を行います。

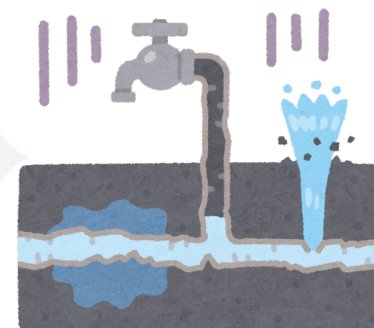
建物不具合・事故例



コンクリートの劣化による外壁剥落



防水の劣化による雨漏り



設備の老朽化による水漏れ等



保守点検、運転監視を行い
不具合・事故を未然に防止

④ キャンパス環境整備・保全（緑化、交通、サイン、バリアフリー等）

キャンパスライフを魅力的なものにするため、キャンパス環境の整備・保全・改善を実施します。



緑地整備・保全



構内交通整備



キャンパス案内
サイン等の整備



バリアフリー対応



キャンパス美化活動
の立案・実施

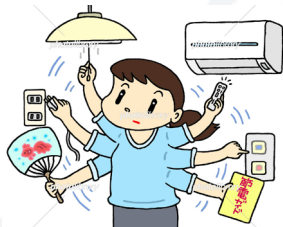
⑤施設マネジメント

(エネルギー管理、スペース管理、施設の長寿命化、カーボンニュートラル等)

大学経営の視点から、建物の長寿命化や計画的修繕、省エネルギー対策、スペースの有効活用、業務の効率化など様々な取組を行います。



自然エネルギーの導入



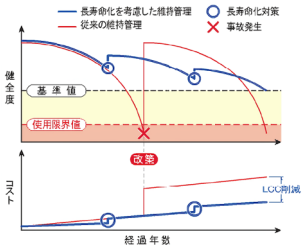
省エネの推進



施設整備業務マニュアル(案)

令和5年4月
金沢大学 施設部

業務マニュアル



施設の長寿命化

金沢大学カーボンニュートラル
に向けた取り組み計画

施設整備における
標準仕様

近年整備した建物

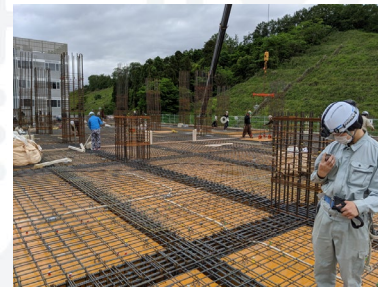
ナノ生命科学研究所(2020年)



- ・文部科学省 世界トップレベル研究プログラム (wpi) の採択を受けて創設した研究所
- ・福間教授が開発した最先端の顕微鏡により、がんなどの生命現象の仕組みを理解する
- ・このため徹底した防振対策を施した地下実験室や、異分野融合できる拠点を整備



wpi採択拠点一覧



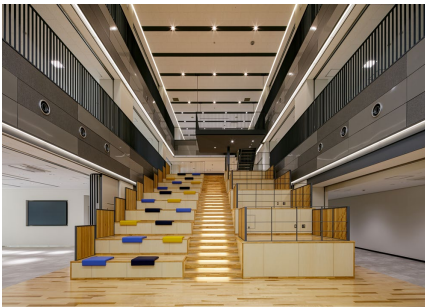
工事の様子

近年整備した建物

バイオマス・グリーン・イノベーション・センター(2022年)



- ・(株)ダイセルからの寄付による産学連携のための施設
- ・複数の企業や大学が入居し研究することにより、新たなイノベーションを創出
- ・石油に頼らない次世代バイオマス素材の製造技術などの研究開発、社会実装



ステップホール



実験室



エントランス

近年整備した建物

第2中央診療棟(2024年)



- ・診療機能の強化を図るため、手術室の増設、がんゲノム医療環境の充実、外来化学療法室の拡張、高度画像診断検査環境の強化を行ったもの
- ・近年、高難度手術が増加傾向にあり、手術室不足を解消
- ・あわせてMRI(磁気共鳴画像設備)等の検査機器の増設



MRI室(磁気共鳴画像室)



手術室



免振装置

整備中の建物

未来知実証センター(2025年完成予定)

完成予想図



- ・現在や未来の課題を探索し、克服するための知恵”未来知”
- ・文理医の知を融合し、さまざまな実証研究を推進し、イノベーションの創出に繋げ、”未来知”による社会貢献を果たす



工事着手 (R6.3)



掘削工事 (R6.4)



基礎工事 (R6.6)



躯体工事 (R6.9)

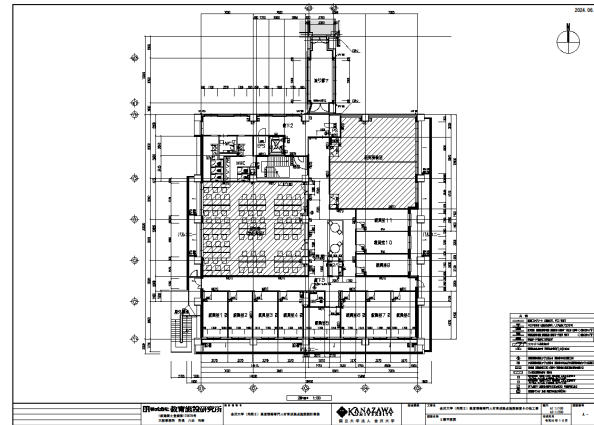
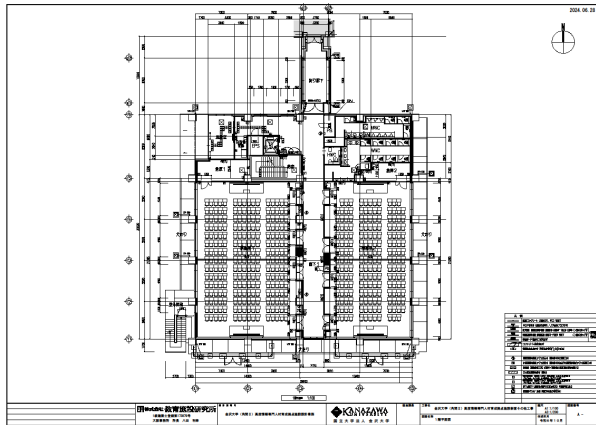
整備計画中の建物

高度人材育成拠点施設(仮称)(2025年完成予定)

完成予想図



- ・近隣の高等教育機関等と連携し、早期に高度情報専門人材を社会へ排出する高度情報専門人材養成エコシステムの確立を目指すもの
- ・学術的で高度な知見を得るための情報分野における連携教育プログラムを構築・実践する
- ・令和6年度に情報工学分野とデジタル融合分野の2つの学類の入学定員を拡大
- ・令和9・10年度に大学院の定員拡大を予定



【金沢大学 東院キャンパス（北川津谷分校敷地内）】

設計図(平面図)

■ 被害の概要（施設・設備）

黄色マーカ・・・大規模な復旧が必要な施設



- ### 1. 施設：臨海実験施設

 - ✓ 護岸や敷地・崖の崩壊により、敷地全体として安全が確保されていない。
 - ✓ 建物は基礎地盤の崩壊により「大破」と判定され、継続使用を禁止している。
- ### 2. 施設：能登海洋水産センター

 - ✓ 建物自体の被害は軽微であるが、床及び柱に傾きがあることが判明し、基礎にもひびが発生している。
 - ✓ 能登町が所有している建物、護岸、外構、及びインフラ設備の復旧を並行して進める。
- ### 3. 施設：ヨット艇庫

 - ✓ 建物下の地盤が動いたため、建物に傾きがある。基礎地盤の崩壊（空洞が存在）により「半壊」と判定され、建物の継続使用を禁止している。
- ### 4. 施設：上記の施設以外

 - ✓ 床壁のクラック、外壁剥落、ガラス破損、天井材の落下、照明・空調ダクトの破損、舗装破損等の軽微な被害が発生している。
 - ✓ 金沢市等の施設が被害の中心である。
- ### 5. 設備：実験研究設備・備品

 - ✓ 実験研究設備の転倒や落下、棚の転倒による破損・異常等の被害が発生した。
 - ✓ 能登地区に加えて、金沢市内の施設でも多くの被害が発生した。

《これら被害の復旧・復興が急務》



採用情報は、金沢大学ホームページ「金沢大学教職員採用情報」を参照するとともに
下記連絡先までお問い合わせください。

[金沢大学教職員採用情報 – 金沢大学 \(kanazawa-u.ac.jp\)](https://www.kanazawa-u.ac.jp)

また、詳細な業務内容の説明を希望される方は、下記連絡先までお問い合わせください。

連絡先

国立大学法人金沢大学

施設部施設企画課総務係

[TEL:076-264-5104](tel:076-264-5104)

[Mail:fasomu@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:fasomu@adm.kanazawa-u.ac.jp)